



# NPO 法人 つくば環境フォーラム

## 2019年度 活動報告

特定非営利活動法人（NPO 法人）「つくば環境フォーラム」は、つくば周辺地域の環境をよりよい形で未来世代に引き継ぐことを目的に、地域の環境の調査・研究・保全事業、環境教育事業、連携促進、情報の収集・発信、環境に配慮したまちづくりへの提言活動等を展開しています。2019年度は以下の活動を行いました。

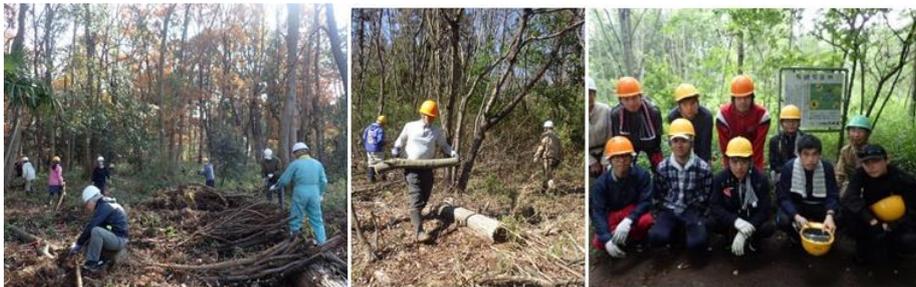
### 1. 環境の調査・研究・保全事業

#### 1-1. オオムラサキの棲む里山づくり 参加者計 のべ 425名

平成 14 年より、良好な里山の象徴としての国蝶オオムラサキが棲み続けられるよう、つくば市下平塚にて雑木林の保全・再生事業を展開しています。開発事業終了後に新たにできた市街地に隣接して、民有林と県有地合わせて約 21ha の里山の自然が残っています。民有地での活動を自主事業として、県有地での活動を茨城県からの委託事業として取り組んでいます。オオムラサキをはじめとする生物の多様性が保たれる里山の手入れを行い、子どもたちが身近な自然とふれあい学ぶ場として活用することをめざして、保全活動・体験活動を行いました。

##### ・森づくりボランティア

民有林である保健保安林では平成 15 年より森づくりボランティアを継続しています。筑波学院大学や千葉工業大学の学生、近隣のロケーションビレッジの住民の参加、つくば薪クラブとの連携等で、里山の森の手入れ、枯れたクリの伐採などの活動を行うことができました。10 回計画 9 回実施し、のべ 111 名が参加。活動開始より通算 159 回の活動となりました。



ロケーションビレッジの皆さん 枯れ始めたクリの間伐 インターンの大学生たち

実施日	参加者数
4月27日	6名
6月22日	12名
7月15日	6名
8月17日	18名
8月28日	13名
11月23日	雨天中止
12月14日	34名
1月18日	8名
2月22日	6名
3月20日	8名

##### ・里山子どもワンダーランド探検隊

親子の自然体験プログラムを 10 回計画、うち 9 回を開催し、自然観察、森の手入れ体験、オオムラサキの越冬幼虫調査などを行いました。のべ 284 名参加。活動を支えたスタッフ・ボランティアのべ 30 名。



オオムラサキの棲む森へ 夏の昆虫探し カブトムシの棲みかづくり

実施日	参加者数
4月27日	32名
6月15日	35名
7月13日	41名
9月7日	48名
10月19日	30名
11月23日	雨天中止
12月14日	28名
1月18日	33名
2月22日	26名
3月20日	41名

#### 1-2. 葛城大規模緑地利活用事業（茨城県委託事業）

参加者計 のべ 953名

市街地に隣接して残された葛城大規模緑地（県有地）14ha は、自然環境を保全しつつ活用することをめざして官民協働で整備中の里山です。この事業は、当 NPO と一般財団法人つくば都市交通センターの連合体で茨城県から委託を受け実施しました。平成 27 年に「葛城里山クラブ」を設立して 5 年目、4/20 の葛城里山クラブ交流会に 44 名が参加、森に親しみ、交流を深めました。また、毎月の自然観察会「里山散歩」を 9 回実施して（のべ 119 名参加）、周辺住民に緑地の認知と協働活動への参加を促しました。住民参加での植樹地の手入れ活動「森づ

くりボランティア」を3回実施、22名が参加、3月の植樹活動「里山を育てるマイツリー大作戦」には110名が参加しました。これらの活動は、スタッフのべ71名が担いました。活動2年目となる「植生ボランティア」で、植物の保護、調査、森の手入れ等の活動を21回、のべ175名で行ったほか、動植物の調査記録をまとめました。また、実際の維持管理活動は刈払い機やチェーンソーの講習を受けた「葛城フォレスター」（登録者33名）が有償で担い、草刈りや間伐作業を行いました（作業日数43日、のべ412名）。なお、葛城里山クラブは登録者525名で森を見守るファンが年々増えています（昨年比23名増）。



葛城里山クラブ交流会 森を調べる



水辺づくり



会員同士の交流



里山散歩（自然観察会）



植生ボランティア 植物調査



絶滅危惧種タコノアシの保全



里山散歩（自然観察会） マイツリー植樹（親子で植えて見守ります）



110名が植樹活動に参加

### 1-3. 筑波山麓谷津田再生事業）参加者計 のべ796名

筑波山のふもと神郡にある自然豊かな谷津田を存続させるために始めた沢水を利用した米づくりは、今年で14年目になりました。ホタルやホトケドジョウなど絶滅危惧種がみられ、サシバやサンコウチョウなどの夏鳥が子育てしています。0.8haの谷津田と周辺の里山林とのつながりが、豊かな自然を育てています。今年度は体験付きオーナーに31組の親子登録があり、毎回の体験イベントに子どもたちの笑顔と歓声があふれました。

#### ・谷津田の米づくり 参加者のべ408名

実施日	テーマ	参加者数
5月3日	田植え	103名
6月16日	ホタル観察会	106名
9月14日	稲刈り	101名
10月26日	収穫祭	98名



体験付きオーナーの田植え



収穫祭でおもちつき

- ・オーナー参加者の親子体験活動「田んぼオープンデー」を12回実施してのべ102名の参加がありました。
- ・21名（40口）の支援者の皆さんに資金の協力をいただきました。
- ・㈱アレフ（びっくりドンキー）の社員研修を受け入れ、5/22 田植え、9/25 稲刈りを実施（参加者のべ36名）。
- ・野村不動産㈱のテナント入居向けイベント95名を受け入れました。5/18 田植えを実施、稲刈りは雨天のため中止となりました。

- ・メタウォーター(株)のCSR活動を受け入れ、6/1 田植え、9/28 稲刈りを行いました(参加者のべ 64 名)。
- ・「米づくりボランティア」に7名が登録、イベント以外の作業を20日実施、無農薬田んぼを6枚維持しました。活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ91名でした。



メタウォーター(株) 田植え



(株)アレフ社員研修 稲刈り



脱穀体験(10/5 オープンデー)

#### 1-4. 筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり 参加者計 のべ132名

谷津田周辺の里山の雑木林で、森の若返りを図るための間伐と枝の片づけ、下草刈りなどの手入れ等を、親子で楽しむ活動と組み合わせて実施しました。「つくば薪クラブ」と連携して、里山整備で出た材を有効活用しています。活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ9名でした。

実施日	テーマ	参加者数
12月7日	森の手入れ、伐採枝のたき火、焼き芋	雨天中止
2月1日	伐採枝のたき火、五平餅焼き	35名

- ・東京セキスイハイム(株)の新入社員研修を受け入れ、4/19 森の手入れ体験と自然観察を行いました(参加者78名、スタッフ10名)。



植樹した木の手入れ

#### 1-5. その他の調査活動 参加者計 のべ21名

##### 「筑波山におけるブナの結実調査」

10/9 筑波山において男体山、御幸ヶ原で調査。3名

結実は20本観察して1本のみでした。「全国ブナ結実調査」へ報告

##### 「つくば市自然文化財基本調査」(つくば市委託事業)

つくば市文化財課の依頼を受けて平成27年度よりつくば市内の巨樹等自然文化財の調査を継続中。5年目(最終年)の本年は、筑波山と宝篋山の登山道沿いの巨樹70本を6日間のべ18名で調査・記録しました。



筑波山でブナの巨樹を調査

## 2. 環境教育推進事業

### 2-1. 筑波山ファンクラブ 参加者計 のべ101名

筑波山の豊かな自然を守り育てる人の輪を広げることをめざし、11回の観察会や調査活動を計画しましたが、雨天が多く8回を実施しました。メンバー登録制で、2019年度の登録者は93名でした。毎回の報告をカラーの「筑波山便り」として発行し、ファンクラブ登録メンバーに送付しています。

実施日	テーマ	参加総数
4月22日	裏筑波のカタクリと早春の植物	13名
5月6日	雨引山・新緑ハイク	22名
6月2日	筑波山・広根場林道の植物観察	13名
7月7日	八郷の里山歩き	8名
8月10日	筑波山・自然研究路の植物観察	9名
9月1日	朝日峠～雪入山の自然観察	15名
10月14日	筑波山自然展・自然研究路の自然観察とブナ結実調査	台風中止
11月24日	つくば市筑波山市有林の紅葉	雨天中止
12月22日	つくし湖～薬王院 野鳥観察	8名
2月16日	筑波山麓を歩く	13名
3月29日	宝篋山・早春のスミレ	雨天中止



4月 カタクリの観察と調査



9月 雪入山での自然観察会

## 2-2. 筑波山自然インストラクター 参加者計 368名

筑波山の学校ガイドを計 2 回実施、参加者 84 名、活動したインストラクターはのべ 8 名でした。海外の子どもたちにも、筑波山の自然を案内することができました。

実施日	対応した学校・団体、場所、活動テーマ	参加者数
6月26日	香港セント・ポール・カソリック・スクール 4～6年生	生徒40名・引率10名
10月23日	稲敷市立古渡小学校 3・4年生	生徒30名・引率教員4名

また、第9回「筑波山の自然展」を、10/8～10/14に計画しましたが、大型台風被害でケーブルカーが連休となり、前半4日間のみ開催。ケーブルカー山頂駅2階で動物はく製やジオパーク関連などの展示と解説、ネイチャークラフトなどを実施、231名の来訪者がありました。活動したインストラクターはのべ45名でした。



香港の子どもたち ふれあいの里でエコバックづくりも 筑波山の自然展会場 3D模型で筑波山を解説

## 2-3. 筑波山ネイチャーガイド事業（つくば市委託事業） 参加者計 667名

つくば市観光推進課の委託で6年間実施したビジターセンター試行事業に代わり、今年からはネイチャーガイドを主体とした事業を行うことになり、11/11～11/21の平日のみ9日間行いました。御幸ヶ原にテントを設営し631名の参加者にのべ36名のインストラクターが対応、秋の見どころマップ1300枚も配布。



設営した野外テント 紫峰杉コースでガイド 筑波山のブナについて解説 遠足の子どもたちに解説

## 2-4. 筑波山自然環境教育事業（つくば市委託事業） 参加者計 133名

つくば市環境政策課より委託され、筑波山周辺の自然環境を学ぶ4回の活動を実施しました。様々なコース、様々なテーマで自然にアプローチし、つくば市の豊かな自然環境について、つくば市環境サポーターの方々から学びました。活動を支えたスタッフはのべ19名でした。

実施日	テーマ	参加者数
6月8日	つくばの里山を学ぶ 葛城～すそみの田んぼ	26名
8月7日	水でつながる 霞ヶ浦～桜川～ふれあいの里	28名
11月4日	蛇行河川と人の暮らし 小貝川～桜川	27名
2月11日	筑波山山麓の湧水をめぐる	33名



6月 葛城でオオムラサキの観察



8月 霞ヶ浦湖上で水質調査 桜川漁協の協力で魚の観察 11月 小貝川畔での解説 2月 湧水めぐり

## 2-5. しぜんっこくらぶ in ゆかりの森 参加者計 のべ 1272名

幼児とお母さんのための自然体験教室を豊里ゆかりの森で平成14年度より、毎年実施しています。今年も、親子で四季の移り変わりを感じ、自然へのまなざしを育てることをめざし、年間登録制で月に2クラス（水曜日及び金曜日クラス、各30組）計20回を実施しました。子どもだけでなく、お母さんたちにも新しい発見がいっぱい、お昼時間の交流タイムはお母さん同士の会話も弾んでいました。また、この活動では、以前の参加者である「しぜんっこ修了生」のお母さんがボランティアとして協力し、様々に活躍しています。ボランティア研修会も10回実施しました。また、12月、2月、3月に体験参加を募集し、各回3組程度の参加を受けつけ、次年度への活動へつなげることができました。イベントへの参加者数はのべ1057名（体験参加含む）、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ215名でした。

水曜・金曜クラス	テーマ	参加者数
5月15日・17日	新緑の森へいこう！	114名
6月12日・14日	じゃがいも掘りと、とれたてじゃがいも料理	116名
7月3日・5日	夏の生きもの探検隊！～ザリガニ釣り体験	112名
9月4日・6日	生き物いっぱい！！つるん～とわらび餅づくり	99名
10月16日・18日	秋の森の宝さがし～お月見飾り	92名
11月20日・22日	♪森でフェスティバル&森のバザール♪	88名
12月4日・6日	☆森のクリスマス☆	91名
1月15日・17日	竹筒でごはん炊き・どんど焼き・焼きマシュマロ	113名
2月19日・21日	春の七草をさがそう！～七草がゆ	113名
3月11日・13日	春を見つけよう！～よもぎだんごづくり	119名



お母さんボランティアが活躍 ジャガイモ掘り 落ち葉のインディアンハット 森のクリスマス

## 2-6. つくば里山楽しみ隊 in 高崎自然の森（つくば市委託事業） 参加者計 のべ 327名

つくば市農業課林務係に「高崎自然の森自然体験教室事業」の依頼を受け、平成21年度より高崎自然の森での自然体験プログラム「つくば里山楽しみ隊♪」を実施しています。里山の平地林が残っていることの価値や、里山は人が手入れし利用することで自然の豊かさが保たれてきたことを伝えています。冬の森の手入れ体験は、隣接する「おぐろくの森」の維持管理をしている「つくばフォレストクラブ」のメンバーの協力を得て実施、オブジェづくりでは、にれ工房の山崎誠治氏に指導をお願いしました。毎回多数の申し込みがあり、リピーターの参加者も多い事業です。高崎自然の森の認知度もアップし、様々に活用されるようになってきています。イベントへの参加者はのべ269名、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ58名でした。

実施日	テーマ	参加者数
5月19日	第1回：春の森たんけん+ピース・オブ・フォレスト（親子対象）	79名
7月24日	第2回：夏休み企画！森の生きものマップづくりⅠ（小学生対象）	33名
7月31日	第3回：夏休み企画！森の生きものマップづくりⅡ（小学生対象）	34名
11月2日	第4回：秋の森たんけん+落ち葉アート（親子対象）	74名
11月30日	第5回：森の手入れ体験+クリスマスオブジェづくり（親子対象）	49名



5月 木の芽生えを探す 7月 夏休みの生きもの調査 秋の森たんけん 間伐体験学習

## 2-7. 筑波山麓自然学校（つくば市委託事業） 参加者計 468名

平成14年度から筑波ふれあいの里の主催事業である筑波山麓自然学校の企画運営を担当しています。この事業では、一般市民が筑波山麓の自然環境への理解を深め、将来へ向けての自然環境の保全・自然資源の有効活用と地域の活性化が進むことをめざしています。今年度から受付業務も請け負い、インターネットによる申し込みに移行しました。年間9回の講座を開講し、のべ参加者数は380名、スタッフ・ボランティアはのべ88名でした。

実施日	テーマ	参加者数
6月23日	里山の森と畑 ～サツマイモをつくろう！	40名
7月20日	発見・たいけん・沢遊び	50名
7月27日	沢の生きもの観察会	29名
8月18日	虫・むし探検隊	37名
11月16日	つるをひっぱれ！ サツマイモ掘り&森探検	46名
12月15日	森の散策とクリスマスクラフト	46名
1月11日	おもちつきとならせ餅	46名
1月26日	竹ご飯と竹工作	53名
2月8日	100キロのみそづくり	31名
3月8日	春を探そう～ネイチャービンゴ	COVID19 で中止



6月 森の土と畑の土を比較観察



8月 筑波山麓で昆虫の観察



11月 森探検で色探し



12月 森を散策して材料集め



1月 竹でご飯炊き



2月 味噌づくり体験

## 2-8. その他の環境教育推進事業

- ・筑波学院大学オフ・キャンパス・プログラム 学生(6名)の受け入れ 6月～12月
- ・千葉工業大学インターンシップの受け入れ 学生2名 8月2回
- ・筑波大学大学院自然保護寄附講座里山実習 10/21、11/18、12/16 大学院生11名
- ・筑波大学大学院自然保護寄附講座よりインターンシップの受け入れ 20日間 留学生1名
- ・筑波大学環境保全学授業 里山ならびに筑波山の自然資源の保護と活用 12/10 学生41名

## 3. 連携促進事業

### ・筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会

筑波山麓で活動する個人や団体が連携して、豊かな地域資源や人材を活かした都市と農村の交流をめざし結成された筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会に、幹事団体として参加しています。野村不動産(株)が来訪する田んぼの田植え・稲刈りの体験を協働で企画運営し農村マルシェを開催。筑波山麓地域情報紙「すそみろく」編集委員会に平成18年の創刊以来かわり、代表田中が編集長を務めてきましたが、5月に刊行した第40号で休刊することになりました。

### ・その他、他団体との連携

都市と自然が融合する暮らし「つくばスタイル」を発信する「つくスタ緑日」に、「筑波山の自然展」で参加。また、地域の子育てを支援するためのネットワーク「かるがもネット」、持続可能な開発のための教育の推進を目指す「ESD-J」に会員として参加しました。



筑波山麓地域情報紙「すそみろく」  
第40号

## 4. 情報収集・発信事業

### ・ニュースレター「TEF TEF（てふてふ）」の発行



「TEF TEF」をつくば環境フォーラムのオピニオン紙と位置づけ、テーマを設定して情報を集め、提言にまとめて発行しています（発行部数 2000 部）。教育委員会の協力を得てつくば市内の小中学校にも配布し、学校関係者の方々にご覧いただいています。また、季節ごとの活動に関しては TEF News を年 2 回発行し、活動の様子を会員・関係機関に知らせるほか、年度ごとにまとめた活動報告をホームページ上でも公開しています。

### 【令和年度発行 ニュースレター「TEF TEF」】

4 4 号	8 月発行	生物多様性を育む里地里山 ～農研機構での研修から～
4 5 号	1 月発行	森と隣り合って暮らすとは？ ～森から始まるご近所づきあい～

TEF News Vol.26 2019年4月発行

TEF News Vol.27 2019年10月発行

### ・つくば環境フェスティバル

11/16,17 の 2 日間、つくばカピオ北側広場で開催されたつくば環境フェスティバルにブースを出展、「つくばの里山を学ぼう・守ろう！」をテーマにパネル展示とネイチャークラフトを行いました。たくさん子どもたちがブースに来て、間伐材を使った木のメダルづくりを楽しみました。



つくば環境フェスティバル

### ・ホームページ・ブログ・フェイスブック

ホームページでつくば環境フォーラムの活動について紹介するほか、葛城大規模緑地利活用事業については、ブログ「葛城の森から」による発信を毎年行っています。2019 年度は 49 回のブログを発信、フェイスブックにも投稿しています。フェイスブックでは折々の活動や自然の様子を紹介、123 回の発信をしました。

### ・筑波山の自然紹介パネル

筑波山ケーブルカー山頂駅 2 階休憩所に 12 枚の解説パネルを毎年掲示し、筑波山の自然への理解を深める情報を発信しています。



田園自然再生の集い 活動発表

## 5. 環境に配慮したまちづくりの研究・提言事業

・つくば市文化財保護審議会への参加（天然記念物担当）7/5 2/10

・田園自然再生活動の集い 11/25 東京大学 弥生講堂

活動発表「筑波山麓すそみの活動～

生きものと共存する米づくりから森を元気にする薪づくりまで」

・阿見町太陽光発電所残置里山林の保全における検討委員会への参加 2/3

## 6. その他

### 【企業との連携（まとめ）】

- ・東京セキスイハイム株式会社 水源の森づくり（新人研修） 4/19 78 名
- ・積水化学工業株式会社 谷津田の保全活動（体験付きオーナー）のべ 58 名
- ・野村不動産株式会社 谷津田保全活動 5/18 95 名
- ・メタウォーター株式会社 谷津田保全活動 6/1 9/28 のべ 64 名
- ・株式会社アレフ 谷津田保全活動 5/23 7/12 10/2 のべ 43 名

### 【受賞】

環境保全茨城県民会議より表彰を受けました。4/23 表彰式

### 【ご寄贈】

久光製薬ほっとハート倶楽部様より寄付金 10 万円ならびにフェイスサポーター 50 個 1/24 贈呈式



2019 年度会員数：237（正会員 20 準会員 203 賛助会員 14）うち 役員 7 法人 4 団体 2